# GitHubによる文書の変更履歴管理

## **GitHubへのアカウント登録**

GitHubへのアカウント登録の手順をスクリーンショット交えて示す。

## **クライアントPCからGitHubへのアクセス設定**

tortoiseGitの場合秘密鍵をputtygen等で自己作成する必要があるところが一般の方にはネック。

→鍵生成のプロセスはGitHub for Windowsをセットアップすることで自動化される（検証中）  
（GitHub for Windowsが生成した鍵をTortoiseGitでも利用する）

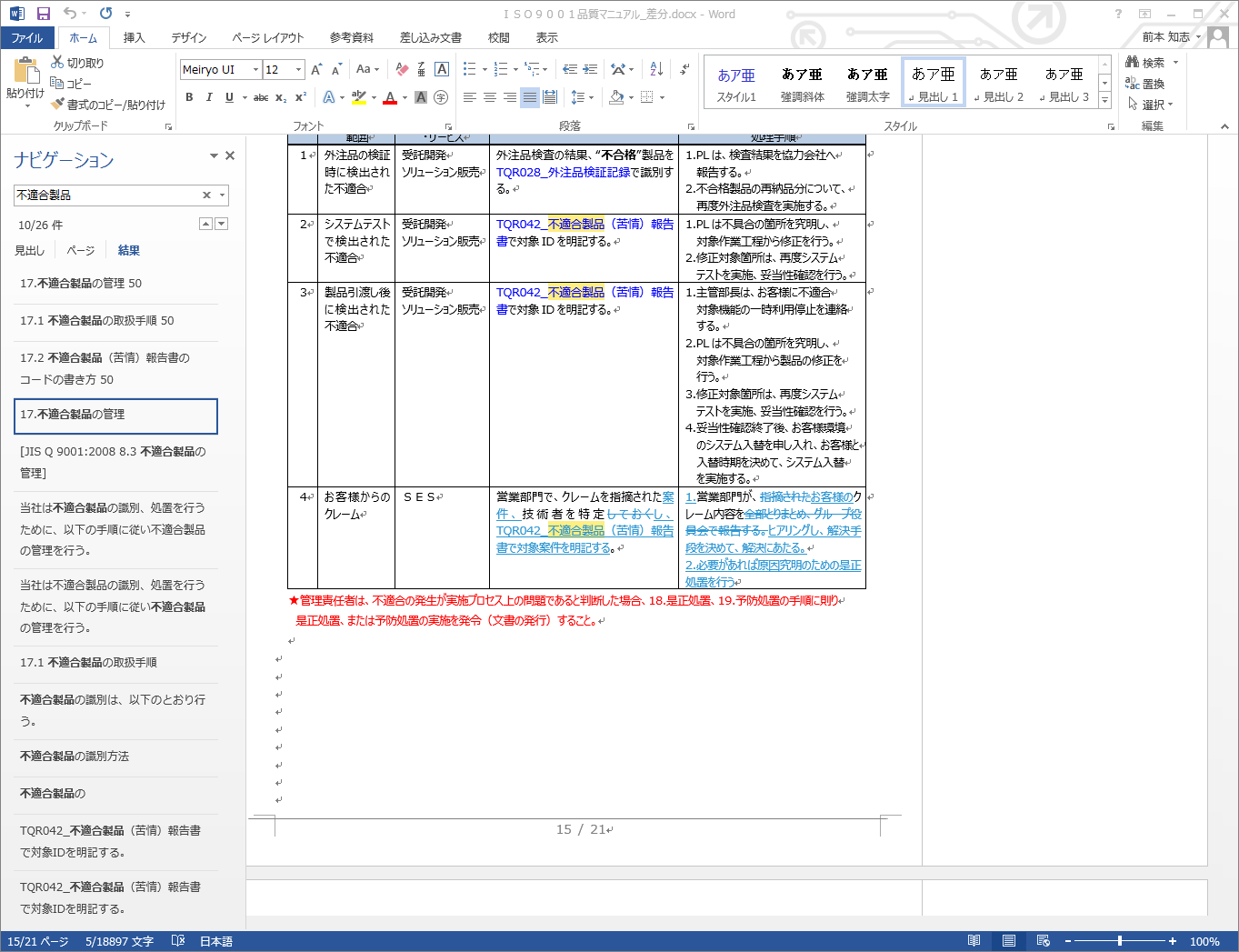
## **GitHubを使った文書操作**

### 文書変更のチュートリアル

原本のコピーを取得→ローカルで改変→ローカルコミット→GitHubへプッシュ　の手順をステップバイステップで行えるよう示す。

プッシュするにはCollaboratorへの追加が必要なので運用規則を設ける必要あり。

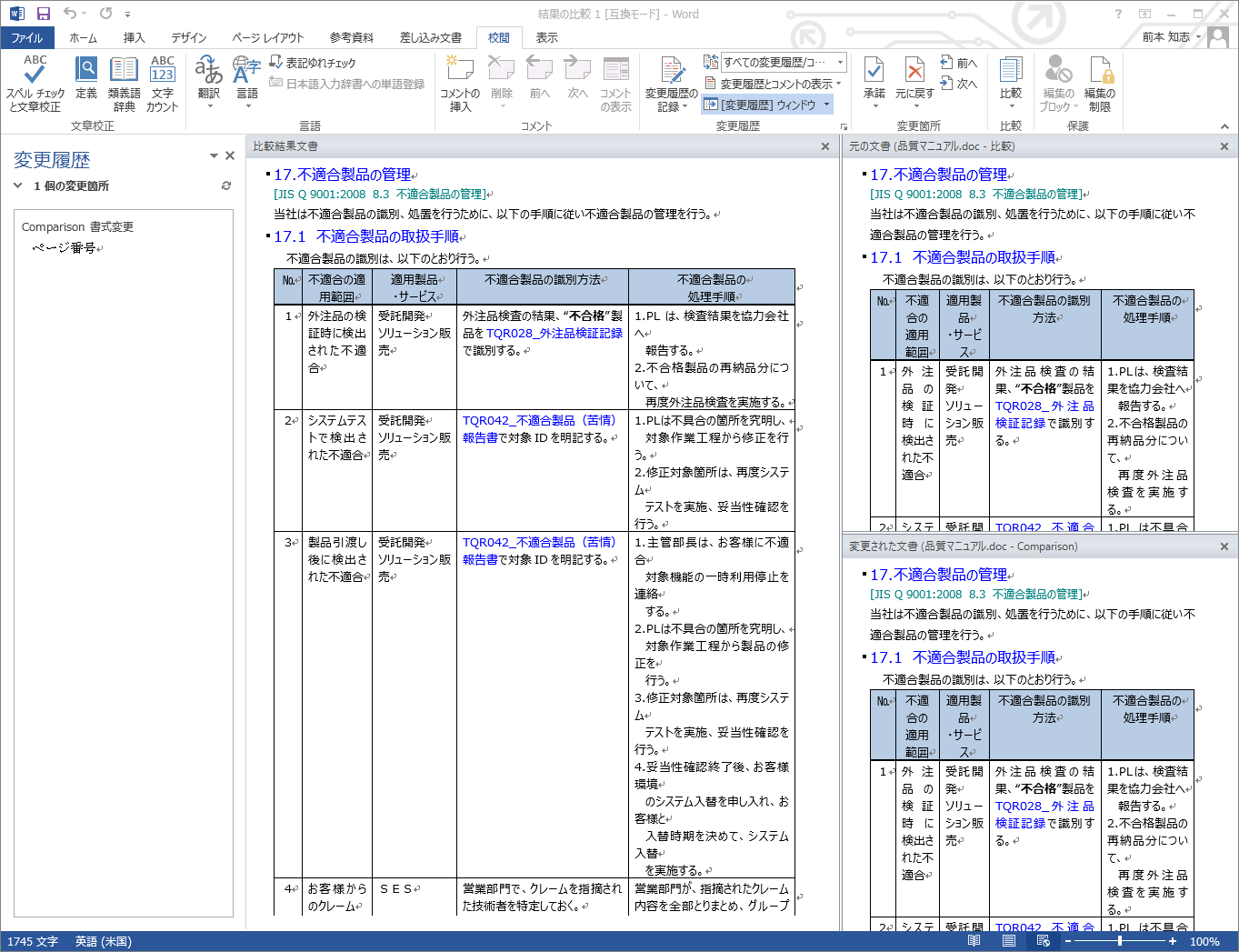
下記変更を文書に加える手順を例示するとなど。



### 変更部分の確認

ローカルファイルとGitHubリポジトリとの差分を表示する方法を示す。

WordなどはTortoiseGitのデフォルト機能で差分表示できる。



その他の形式のファイルについて要調査。

### 文書変更の原本反映の依頼

プルリクエストについて記載

そもそもGitHubでは原本から一般ユーザー更新用ブランチを作っておいて、一般ユーザーのプッシュはそちらへプッシュしてくるように構成をしておくとよい。

<http://qiita.com/samurairunner/items/7442521bce2d6ac9330b>

http://blog.qnyp.com/2013/05/28/pull-request-for-github-beginners/

### 競合時の手順

Wordなどバイナリファイルの場合どうするか？

プルリクエストを受けた管理者側の作業とするか？